

看護こうち

No. 168

2026年1月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会 高知市朝倉己825-5 TEL 088-844-0678 FAX 088-844-0053
URL <http://kochi-kangokyokai.or.jp> Eメール info@kochi-kangokyokai.or.jp

●発行責任者：森下安子

会員数 5,470名

保健師 109名

助産師 136名

看護師 5,036名

准看護師 189名

(2026年1月1日現在)



写真提供：高知市南地区支部

令和8年度会員継続のお知らせは、お手元に届きましたでしょうか？
年に1度の大切なお知らせです。必ず、内容をご確認ください。

特集

わたしたち3世代！看護職ファミリー紹介
3代続くは縁起が良い『成長と創造』

公式LINE
お友達募集中！



高知県かんごちゃん



公益社団法人高知県看護協会

新年のご挨拶



公益社団法人高知県看護協会
会長 森下 安子

新年、明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

また、日ごろは当協会事業の推進にご支援・ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、少子高齢化の進行や医療ニーズの多様化により、看護職を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、特に人材不足は本県において喫緊の課題となっております。また、分娩のできる施設の減少などにより安心して子どもを産み育てる環境の整備も大きな課題です。そのため、高知県の妊産婦が安全・安心に出産・育児ができるための持続可能な周産期医療体制を構築するため、助産師の役割拡大と助産実践能力の向上を目的とした「アドバンス助産師育成研修」を実施しました。また、ナースセンターでは、新たな取り組みとして、看護人材の不足が深刻な中山間地域の医療機関への短期就労をマッチングする「こうち看護応援隊」の取り組みをスタートしました。今年も、高知県の保健・医療・福祉の課題解決に向け、取り組んでまいります。

当協会は、今後も急性期から慢性期、在宅、小児、高齢者などさまざまな対象者や場において看護の役割を発揮する看護人材の育成に向けた研修事業等を行ってまいります。本年も会員の皆様にご協力を頂きながら事業を進めてまいりたいと思います。引き続きよろしくごお願い申し上げます。

丙午の「丙」は陽の気が極まり物事が大きく成長することを、「午」は活力と前進を象徴すると言われております。本年が、県内の看護職の皆さまにとって、力強く歩みを進める一年となりますよう祈念し、挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくごお願い申し上げます。

令和8年度 高知県看護協会 奨学金（給付型）の募集が始まります。

【応募資格】

1. 看護師養成所2年課程奨学金

- ① 看護師養成所2年課程に在籍し、令和8年度に2年次に在籍すること
- ② 高知県内の医療機関や福祉施設等に勤務し又は勤務予定であること

2. 専門看護師教育課程奨学金

- ① 保助看法による保健師、助産師又は看護師の免許を有していること
- ② 専門看護師教育課程に在籍し、令和8年度に2年次に在籍すること
- ③ 高知県内の医療機関や福祉施設等に勤務し又は勤務予定であること

【応募受付期間】

令和8年2月2日（月）～2月27日（金） ※必着

応募資格、応募方法等の詳細は、当協会ホームページをご覧ください。
ご応募お待ちしております。



かんごちゃん

職能委員会活動のご紹介

保健師

保健師職能委員長 窪田 純子

保健師職能委員会では、保健師がそれぞれの立場で関与しながら、職能を発揮ができるよう、顔の見える関係づくりを目標の1つとして取り組んでいます。

中でも、入庁4年目までの新任期の保健師の皆さんに夢を持って元気に働いてもらいたいという想いで、毎年、新任保健師交流会を開催しています。令和7年度は、行政だけでなく、職域からも多くの保健師の参加があり、地域と職域の保健師の交流の場にもなりました。今年は子ども連れで参加された方もいて、楽しく気やかな雰囲気の中で開催することができました。ちょっと先輩から素敵なエールが贈られ、少し未来の自身の保健師像を描く機会にもなったのではないのでしょうか。

是非、来年もたくさんの方に参加していただき、保健師同士も学び合いたいと思っています。



助産師

助産師職能委員長 嶋岡 暢希

助産師職能委員会では、今年度高知県の委託事業として、アドバンス助産師の育成と役割拡大を目的とした研修を計3回実施しました。いずれの研修も県内外から講師をお招きし、実践に即した充実した内容となりました。写真は第3回研修の様子で、諏訪中央病院の藤田由里看護師長、佐藤真希助産師による「院内助産開始のヒント」をテーマとした講義の一場面です。午前は院内助産を進めるうえでの考え方や、常勤医不在の中での具体的な準備や実践について共有され、午後は各施設の課題を踏まえたロードマップを検討するグループワークを行い、活発な意見交換がなされました。これからの高知県周産期医療体制では、施設や地域を超えて妊産婦に伴走する助産活動の展開が求められます。助産師職能委員会では今後も、県内助産師の質向上と交流を促進する研修や企画を継続的に検討していきますので、未入会の方にはぜひご入会を検討いただければ幸いです。



看護師

看護師職能委員長 岩崎 美幸

看護師職能委員会では、「LGBTQ 基礎編」、「多施設新人看護師交流会」、「高齢者の薬に関する基礎知識」研修を開催しました。

今年度、初めて実施したLGBTQ研修には、さまざまな組織に勤務する看護職の参加があり、医療と福祉と行政が協働し、当事者の意見を取り入れつつ、仲間を作りSOGI支援を進めていくことが重要であることなどについて意見交換を行いました。高齢者の薬に関する基礎知識研修には、36名（うち病院看護師30名）の参加があり、病院でも在宅でも活用できる内容、そして正しい服薬のために多職種と協働する方法など具体的な内容で好評でした。

多施設新人看護師交流会には、多くの施設から51名の参加がありました。新人看護師が思いや悩みを共有し、先輩看護師から頼もしいエールを受け、リフレッシュすることができました。高知県の看護を担う新人看護師が、今後も看護職を継続できるよう看護師職能委員会として支援を継続していきます。



LGBTQ基礎編研修

令和7年度 地区支部活動報告

高知県では、全域にわたり9つの地区支部で活動しています。地区支部では地区支部連絡委員さんを中心に、地域のつながりを大切にした事業の企画立案から取り組みまで展開しています。

室戸・安芸地区支部

支部長 県立あき総合病院 西岡 雅美

室戸・安芸地区支部は、地域とのつながりを大切に積極的な活動をしています。『まちの保健室』として10月25日【あき元気フェスタ】に、11月15日【芸西フェスタ】に参加し、多くの地域住民の皆様にご利用いただきました。【芸西フェスタ】では、健康相談とアロマハンドマッサージに58名、【あき元気フェスタ】では、小さなお子さんの看護師白衣体験11名、お父さんの妊婦体験3名、赤ちゃんのお世話体験15名、ヨガ16名、ハンドマッサージ12名、ベビーマッサージ1名の参加があり、皆様との楽しいふれあいの場となりました。県東部でのお産や子育てを地域と共に支えあう環境づくりを目指して、2026年春には、あき総合病院で院内助産が開始されます。当地区支部では、こういった『地域とつながる機会』を増やしていきたいと思えます。なお、2月1日(日)には同病院で多職種事例検討会を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



あき元気フェスタ

土佐山田・本山・南国地区支部

支部長 南国病院 小松 匡輔

東部2地区では、香南市の高齢者クラブ運動会や福祉体育大会の救護と、事例検討会および地域災害支援ナース育成研修会【実務編】を開催しました。

地域災害支援ナース育成研修では、高知大学医学部附属病院の高橋氏を講師に迎え、「医療救護所の立ち上げと運営」をテーマに医療救護所の設置場所や運営方法を共有しました。その後、同大学医学部附属病院の西松先生と土佐市民病院の玉井氏による演習「PAT法による二次トリアージ」を、同大学医学部附属病院の山口氏と安岡氏にも支援いただきながら、災害時におけるトリアージの理解や演習に取り組みました。参加者が互いの経験や視点を交換し合う姿は、地域全体の防災力向上への大きな力になると感じました。本研修で得た学びが、災害時の迅速かつ適切な支援に繋がり、住民の安心にも寄与することを期待しております。今後も地域で活動する看護職の皆様にとって実効性が高い研修を継続・企画してまいります。



地域災害支援ナース育成研修

高知市西地区支部

支部長 介護医療院 朝倉 小松 公得

今年の『まちの保健室』は、フジグラン高知で開催しました。梅雨時期の雨の中、出足が鈍く感じられましたが午後から雨も上がり、延べ91名の参加がありました。施設内催事場へのブース設営でしたので、子ども連れ家族から高齢者と幅広い年齢の方々に買い物途中に立ち寄ってもらえました。健康チェックでは、日頃家庭では行わない握力測定や滑舌測定などを「こんなに握力が落ちちゃう」「こんなところで声をだすのは恥ずかしい」と楽しみながら参加していました。健康相談では親の認知面での相談があり、「話を聞いてもらって良かった」との声をいただき、認知症のチェックリストをお渡しできました。運営スタッフも幅広い年齢層の皆様と楽しみながら活動することができました。今後も地域の方々の健康づくりや健康に関する悩み事など気軽に相談できる場所として継続的に取り組みたいと思えます。



まちの保健室

高知市北地区支部

支部長 愛宕病院 山中 美智子

令和7年9月20日(土)に高知市北地区・西地区支部合同で、「事例から考えるアドバンスケアプランニング(ACP)～患者の希望を叶えていくための病院と地域連携～」をテーマに、高知赤十字病院 急性重症患者看護専門看護師(上級臨床倫理認定士)の井上和代氏にご講演をいただきました。両地区支部から46名の参加がありました。ACPの基本的な考え方や具体的な方法について、事例を交えた講義と活発なグループディスカッションが行われ、参加者からは、「人それぞれ考えがあるなかで、選択していかなければいけない大事さを痛感した」「事例を通じてのACPはとても勉強になった」「今後の活動に生かしていきたい」などの感想をいただきました。今後、ACPの実践・推進をしていくためには、とても有意義な研修会となりました。今後も各施設とのつながりを大切にし、地域への貢献、看護職の啓発活動に取り組んでいきたいと思えます。



ACP研修会

高知市南地区支部

支部長 リハビリテーション病院すこやかな杜 村田 ゆかり

南地区支部では、令和7年7月19日(土)に高知工業高校で開催された第79回ボランティア研修会に「看護師のコース」を企画運営をさせていただきました。高知市内から多くの高校生の参加があり、「看護師のコース」には16名が参加してくれました。

4名の看護師と2名の看護学校教員が講師となり、「看護師ってどんな仕事?」「看護師の先輩からの話」「看護学校の紹介」「血圧測定・ガウンテクニックの実技」など、体験研修を行いました。後日、参加された高校生から「ガウンの着脱や血圧測定が体験できて楽しかった。現役ベテランの看護師さんから、苦労したことややりがいなどの話を聞き、看護師になりたい意志がさらに強まりました。」などの感想をいただきました。

多くの高校生との交流ができ、看護師を目指してくれる高校生が増えることを願い、今後も活動していきたいと思っております。



第79回ボランティア研修会

高知市東地区支部

支部長 高知医療センター 畑山 峰

8月3日(日)に高知市東・南地区支部合同で、高知県立大学 竹崎久美子先生、高知医療センター井東 恵氏と日本DMAT隊員1名を講師に迎え、「地域災害支援ナース育成研修【基礎編】」を開催しました。竹崎先生の講義では、「様々な災害と多様化する健康ニーズへの対応-地域災害支援ナースの役割-」をテーマに、災害の動向や災害支援ナースの役割について学びました。井東氏からは、トリアージの概論と一次トリアージ(START法)を学び、その後、トリアージタグの記載の実際とペーパーペイシントを用いてトリアージの演習(グループワーク)を行いました。今年、7月末にロシアでの巨大地震による津波注意報が高知県沿岸に発令された直後でもあり、命の72時間以内、そして、72時間以降でも看護職として地域でどのような役割を担うことができるのかを想定しながら日々を過ごさなければと考える研修となりました。



地域災害支援ナース育成研修

吾川・佐川地区支部

支部長 白菊園病院 森田 安世

西部1地区は吾川・佐川地区支部、須崎・窪川地区支部と2つの支部で一つの地区のくくりとなっており、合同開催の研修会も含め、両地区支部の連絡員の皆様にもお手伝いいただきながら活動を進めています。合同研修として、「多職種事例検討会」の他、「保健・福祉・医療実践発表会」を開催しました。

地区支部での活動において、支部長としては、情報共有とそのための説明を行う役割があると考えています。その為に、須崎・窪川地区支部連絡会の1週間後に吾川・佐川地区支部連絡会を開催して頂き、両地区の活動に無駄や無理がないように須崎・窪川地区支部長とも密にやり取りを行っています。地区支部内では連絡員が交代することもあります。施設内でしっかりと引継ぎがされていることに助けられています。これからも顔の見える関係が途切れることがないように努めていきたいと思っております。ご協力を宜しくお願いいたします。



保健・福祉・医療実践発表会

須崎・窪川地区支部

支部長 栲原病院 川上 光恵

須崎・窪川地区支部では、吾川・佐川地区と合同で11月15日(土)に、高陵病院の大会議室において「多職種事例検討会」を開催しました。各施設から20名の方に参加していただきました。高齢者に関する2つの事例「認知症の在宅希望」と「心不全」について、2グループ毎に分かれて検討を行いました。

高齢者の事例を通じて、各施設や地域での取り組みや、日頃各施設でどのように問題を解決しているのか等の情報交換を行うことができました。そして、全体のファシリテーターと各グループのファシリテーターに支援をうけつつ意見交換を行い、色々な角度から考えることができ、とてもよい機会になったと思います。他施設の方との交流もでき、大変貴重な時間となりました。今後も、各施設とのつながりを大切に、多くの方に参加していただけるよう支部活動を継続していきたいと思っております。



多職種事例検討会

幡多地区支部

支部長 四万十市立市民病院 渡辺 七美

幡多地区支部の活動として、地域災害支援ナース育成研修、多職種事例検討会、四万十川ウルトラマラソンへの救護看護師派遣を行いました。地域災害支援ナース育成研修では、【基礎編】幡多地区の地域災害支援ナースとDMAT、【実務編】高知県立大学 竹崎久美子先生を講師として同日開催ができました。

多職種事例検討会においては、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、作業療法士等の多職種の方に参加していただくことができました。近森病院 在宅看護専門看護師 山本詩帆氏に「病棟・外来の継続看護の推進～在宅療養を支えるために～」と題して講話をしていただき、その後「高齢者」の事例をもとに、グループワークをしました。本人や家族が抱えている思いや課題、それらに対して自分たちが出来る支援は何か?自施設での取り組みを含めた内容や工夫の提案等を発表。全員で情報共有し、有意義な研修となりました。

今後も継続して地域医療、災害医療に貢献できるよう活動していきます。



地域災害支援ナース育成研修

特集



看護職ファミリー紹介

私たち3世代！

3代続くは「成長と創造」 縁起が良い



高知大学医学部附属病院
看護師 柏井 朝日

元 横浜病院勤務 看護師 森沢 芙佐子【祖母】
いずみの病院 看護師 柏井 浩子【母】

私は祖母、母、そして私と三代で看護師として働いています。幼い頃から母に「看護は、目の前の人を目で見て、手を当てて見ることだよ」と教えられ、その姿勢は自分の中に深く根づいています。祖母も母も、忙しい中でも患者さんに丁寧に向き合い、小さな変化に気づき、寄り添う看護を実践してきました。

実際に自分が看護師として働くようになり、患者さんの人生の重要な一部に関わっているという責任を日々感じています。だからこそ、業務として流すのではなく、一つひとつの関わりに心をこめたいと思っています。しかし、現場では時間に追われ、理想通りにいかない難しさもあります。それでも、手を握っただけで表情が和らぐ瞬間や「あなたがいて良かった」と言っただけの時、看護の本質に触れたような気がします。

祖母、母から受け継がれてきた“人に寄り添う看護”を、私も大切に引き継いでいきたい。これからもその想いを胸に、自分なりの温かい看護を続けていきたいと思っています。



有限会社 ケアコミュニケーション
看護師 伊野部 伸子

元 函南病院勤務 看護師 伊野部 艶【母】
早明浦病院 看護師 植田 詠子【子】



20歳で看護師となり、私と妹を出産し、嫁ぎ先の稼業を手伝いながら70歳半ばまで現役看護師として勤め上げた母。孫が4人誕生してからは、私達に代わり孫の世話をかってくれ、共に看護師の妹と安心して勤務が続けられたことに感謝してもしきれません。現在は、91歳となり、医療スタッフの皆さんのお世話になりながら穏やかに日々を送っています。

私は、母ほどのパワーはないものの、看護師となり48年。今は病院勤務から介護の現場へかわり、同じ高齢者として利用者の方々のお役に立てる事が無いが模索しながら勤務しております。

私の娘も看護師となり、とても慈しみ育ててくれた父（娘の祖父）が入院した折には、看護師として関わることができ、父も孫娘の成長ぶりが見られて、さぞ嬉しかったことと思います。

看護師三代目として、母は現役を退いたものの、私、妹、私の娘にとっての道しるべとなってくれたことに感謝しています。

近森リハビリテーション病院
看護師 萩原 博

元 竹本病院勤務 准看護師 萩原 好【母】
愛宕病院 看護師 萩原 脩平【子】

私の家族は、母と私、そして子供たちも看護の仕事に就き、気づけば三代目と同じ道を歩むようになりました。母が静かに教えてくれた「看護は人の気持ちに寄り添うこと」という言葉は、今でも私にとって大切な指針であり、子どもたちにも自然と伝わっているように思います。

働く場はそれぞれ異なりますが、日々のケアで学んだことや感じたことを語り合えることは、家族ならではの励みになっています。また、同じ職種だからこそ、悩みに共感し合えたり、そっと背中を押してくれたりする存在が身近にいることは、心強さにもつながっています。

これからも三代目それぞれが、自分にできる看護を丁寧に積み重ねながら、その思いが次の世代へも穏やかに受け継がれていくことを願っています。



ふれあい看護体験2025

ご協力下さった54施設の皆様、ありがとうございました。高校生はR6年度より28人増加し、312名が体験できました。(写真提供：近森病院)



2025年度 ふれあい看護体験 参加施設・体験者数一覧(名称一部略)

協力施設	体験者数	協力施設	体験者数	協力施設	体験者数
1 あき総合病院	3	18 高知高須病院	4	35 土佐市民病院	7
2 田野病院	3	19 高知病院	1	36 仁淀病院	2
3 高知大学医学部附属病院	29	20 三愛病院	4	37 高北国民健康保険病院	5
4 JA 高知病院	10	21 島本病院	1	38 高陵病院	3
5 野市中央病院	4	22 愛宕病院	4	39 須崎くろしお病院	1
6 濱北中央病院	1	23 田中整形外科病院	2	40 大西病院	1
7 愛幸病院	2	24 近森会グループ	31	41 くぼかわ病院	2
8 島津病院	3	25 竹下病院	2	42 橋原病院	2
9 朝倉病院	1	26 国立病院機構高知病院	12	43 木岐病院	2
10 潮江高橋病院	1	27 高知西病院	6	44 四万十市立市民病院	4
11 岡村病院	4	28 土佐病院	2	45 竹本病院	3
12 川村病院	1	29 函南病院	3	46 中村病院	2
13 きんろう病院	1	30 永井病院	1	47 森下病院	3
14 高知医療センター	46	31 細木病院	10	48 大井田病院	4
15 高知厚生病院	1	32 もみのき病院	4	49 幡多けんみん病院	30
16 高知整形・脳外科病院	1	33 横浜病院	3	50 清南病院	3
17 高知赤十字病院	34	34 すこやかな社	3		

上記の施設以外にも海辺の杜ホスピタル、白菊園病院、高知鏡川病院、芸西病院の皆様にも、ご協力いただきました。協力施設の皆さまに心より感謝申し上げます。

高知県看護職員応援システム 「こうち看護応援隊」

令和7年度より、高知県から委託を受け、高知県看護職員応援システム「こうち看護応援隊」を実施しています。これまで2名の方が、医療法人川村会くぼかわ病院で短期就労者(2か月間)として活躍されています。



雇用期間が2ヶ月未満であることに魅力を感じ応募しました。皆さん、とても優しく教えてくれます。働きやすい職場です。



「こうち看護応援隊」を活用して良かったです。とても助かっています!



詳細はこちら



ナースセンターからお願い

登録が必要です。お電話でご連絡下さい。

研修報告

令和7年度 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル修了式が行われました

高知県看護協会 教育研修担当 久保 美樹

令和7年5月15日からスタートした認定看護管理者教育課程セカンドレベルが無事修了し、12月5日に修了式を迎えることができました。

期間中は、5教科目余りの講義に加えて地域実習や看護管理実践計画の作成などに取り組んでいただきました。大変充実した内容を、仕事と学びを両立しながら最後まで頑張り抜かれた受講生34名の皆様、本当におめでとうございます。皆様の努力と熱意に深く感銘を受けるとともに、これからの職場や地域での活躍を心より応援しています。

今年度もご理解とご協力を賜りました各施設の皆様、温かく丁寧にご指導くださった講師の先生方、実習受け入れ先の担当者の皆様、そして、教育運営にご尽力くださった認定看護管理者教育運営委員会委員のお力添えにより研修を実施することができました。皆様に心より御礼申し上げます。



高知県看護管理者支援事業 第1回看護管理者実践報告会を終えて

看護管理者支援事業委員会委員(アドバイザー) 吉村 利津子

当事業の目的は、看護職員の勤務環境や処遇の改善、魅力ある職場づくりを促進するために、自施設の課題抽出や課題解決に向けて助言等を行い、職員の確保・定着に繋げることです。

令和7年9月30日(火)計画書に沿った1年間の実践を終えた受講生21名が、「業務改善」や「人材確保と定着」、「人材育成」「入退院支援」「接遇」等、自施設の課題解決に取り組み、働きやすい職場づくりを目指した実践の成果を堂々と発表されました。可視化すること、組織化・巻き込んでいく力等、受講生の頑張りが結集した内容は立派でした。県外アドバイザーからの総評を受け、自信に繋がったと思います。

受講生から「適切なアドバイスや励ましでやる気を維持できた」や「同じ悩みを抱えながら頑張っていることに共感し共有できる場となり貴重な体験となった」等感想がありました。

今後はこの体験から得たマネジメント力が様々な場で発揮できることを期待します。



【令和7年度高知県看護協会看護研究学会】のご案内

開催日：令和8年2月21日（土） 時間：9時～13時 ※開場8時15分



特別講演「看護の心、そして技術」

講師に、日本ヒューマン・ナースング研究学会理事長で第50回フローレンス・ナイチンゲール記章受章されました紙屋 克子氏をお招きします。

看護の心と技・看護の未来についてご講演いただきます。

一般演題：口演20題 示説6題

すばらしい成果が盛りだくさんの研究・実践報告です。

皆様のご参加をお待ちしております。

※今年度より看護学生も参加受け付けしています。



研究学会QRコード

理事会報告

《第4回理事会》 令和7年9月12日（金）

主な内容

I 審議事項

1. 令和8年度通常総会の日程 承認
2. 令和7年度重点課題及び事業の進捗状況 承認
3. 会館運営積立資金に係る資産取得資金計画 承認
4. 研究学会委員会委員の追加 承認

II 報告事項

1. 入会促進活動
2. 令和7年度 都道府県看護協会政策責任者会議
3. 2025年度 中国・四国地区別法人会委員会
4. 2025年度 地区別職能委員長会
5. 業務執行理事の職務報告

《第5回理事会》 令和7年11月8日（土）

主な内容

I 審議事項

1. 上半期事業報告及び決算（案）承認
2. 上半期監査 承認
3. 規則、規程の改正（案）【推薦委員会規則、選挙規程、代議員及び予備代議員規程、職員等給与規程】承認
4. 会館運営積立資金に係る資産取得資金計画の中止（案）承認
5. 令和8年度日本看護協会会長表彰及び名誉会員推薦（案）承認
6. 高知県知事への要望書 項目承認
7. 第2回地区支部長会議事（案）承認

II 報告事項

1. 令和8年度に選挙される役員等及び定数
2. 令和8年度奨学金給付事業
3. 令和7年度地区別法人会委員会・法人会員連絡会
4. 業務執行理事の職務報告

《第2回常任理事会》 令和7年10月10日（金）

主な内容

I 審議・協議事項

1. 高知県知事への「要望書」の提出
 - 1) スケジュール等
 - 2) 要望内容の項目 承認

II 報告事項

1. 日本看護協会 令和8年度重点政策（案）

《第3回常任理事会》 令和7年12月12日（金）

主な内容

I 審議事項

1. 令和8年度重点事業（案）承認
2. 図書室利用規程の改正（案）承認
3. 高知県知事への「要望書」（案）理事会提出承認

II 報告事項

1. 日本看護協会 令和8年度重点政策（案）

高知県シェイクアウト訓練に参加！！

高知県看護協会会館では、令和7年9月1日（月）午前10：00訓練の管内放送を発信！！

事務局職員と当日の研修参加者（予告なし）を対象にシェイクアウト訓練を実施しました。

館内放送をキャッチして皆で

- ①姿勢を低く
- ②頭を守り
- ③動かない

を一齐に行動。南海トラフ地震に備え、各自が安全確保をシミュレートできました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は記録的な猛暑と長引く残暑、そして一気に訪れた冷え込みにより例年にも増して寒暖差を感じ、体調管理を難しく感じられた方も多いのではないのでしょうか。

私自身、気候変動の加速をより一層感じ、地球の温暖化に危機感を更に募らせた一年でもありました。家庭内でも節電や節水など小さなことではありますが、温暖化対策を意識して日常生活に取り入れるように実践しています。一人ひとりの毎日の小さな行動によって地球の温暖化を抑制し、未来の地球を守っていききたいですね。

（広報出版委員 西森 明日香）



●令和7年度広報出版委員会：福留 裕美（JA高知病院）、深木 智与（国立病院機構高知病院）、山脇 寛子（近森病院）、西森 明日香（細木病院）、川島 加奈（高北国民健康保険病院）、森山 万智（事務局）

●印刷：西富膳写堂